

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会

目 次

I 概要	1
II 理事会・評議員会等開催状況	2
III 専門部会活動	3
1 企画財政部会	3
2 地域福祉部会	4
3 児童福祉部会	4
4 調査広報部会	5
IV 校区社協の活動	6
1 各校区の実績	6
2 小地域ネットワーク事業	11
3 ミニサロン	11
4 給食ボランティア事業	11
V 地域福祉事業の推進	12
1 安心生活創造事業	12
2 命のバトン事業	12
3 買い物支援事業	12
4 ファミリーサポートセンター	13
5 暮らし見守り相談員事業	13
6 生活支援体制整備事業	14
7 健康マージャン初心者教室実施事業	16
8 ふれあいサービス事業	16
9 人吉球磨成年後見センター	17
10 地域福祉権利擁護事業	18
11 生活困窮者自立支援事業	18
12 生活福祉資金貸付	19
13 小口福祉資金貸付	20
14 人吉市社会福祉のつどい	20
VI ボランティア活動及び福祉教育の推進	21
1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進	21
2 ボランティアセンター登録状況及び活動内容	21
3 ボランティア体験学習実績	21
4 人吉市災害救援ボランティア養成事業	23

5	球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練	23
6	西日本豪雨災害に伴う職員派遣	23
VII	在宅福祉サービス事業	24
1	デイサロン事業	24
2	介護保険事業	
A	居宅介護支援事業	24
B	訪問介護事業	24
3	障害者自立支援法関係	24
VIII	共同募金	25
1	赤い羽根共同募金	25
2	歳末たすけあい運動事業	26
IX	その他の事業	27
1	人吉市総合福祉センター利用状況	27
2	介護用機器の貸出	27
3	善意銀行	27
4	各種団体の事務局	28
X	資料	28
1	会費の実績	28
2	寄附・香典返し	28
3	受入訪問団体(者)一覧	28
4	実習生受入報告	28

I 概 要

少子高齢化や人口減少の急速な進行、加えて地域における住民相互のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境はますます厳しくなっています。また一方では雇用環境の変化、家族形態の変容などを背景に、社会的孤立などあらゆる世代にわたる福祉課題や生活課題が生じています。

このような中、本会では「地域の福祉力を高め、地域で支え合う体制づくりを推進する」を基本目標に掲げ、地域福祉を推進する中核団体として「地域包括ケアシステム」の一翼を担うとともに、住民参加や協働による福祉活動の支援を行い、住民ニーズに応じたきめの細かい事業を展開してきました。

平成30年度の事業の推進にあたっては、行政・共同募金会などの関係機関及び校区社協、町内会長囑託員連合会、民生委員児童委員協議会、くらし見守り相談員連絡協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会など多くの団体・個人の協力により実施してまいりました。

■事業計画に掲げた重点項目の推進■

1 地域支援の充実

第2次地域福祉活動計画及び校区社協活動計画に基づき、小地域ネットワーク活動や地域サロン活動など住民主体の様々な活動の支援を行いました。

生活支援体制整備事業では、2つの校区に第2層協議体を立ち上げ、生活支援コーディネーターを配置、包括的な生活支援に向けた体制を整えました。

2 福祉相談・援助事業の推進

総合相談窓口である生活困りごと支援センターでは、複雑多様化する相談に行政や関係機関等と連携を密にし、相談者の自立に向けた支援を行いました。

成年後見事業では、増加する法人後見受任依頼に対応するため、本会がこれまで養成した市民後見人を本格稼働させ支援の充実と制度の普及啓発を図りました。

3 在宅福祉サービス事業の推進

介護サービス事業は、利用者の権利と人格を尊重し、できる限り地域で在宅生活ができるよう自立支援に資する質の高いサービスの提供を行うとともに、多様化するニーズに適切に対応できるよう、職員のスキルアップと関係事業所との連携に努めました。

4 ボランティア活動の推進

ボランティア協力校の児童生徒を対象にしたボランティア体験事業や、災害救援ボランティア養成講座等を継続して行い、福祉マインドの醸成とともにボランティアの裾野を広げました。

5 法人運営の基盤強化

責任ある法人として健全な法人運営に取り組むとともに、財政基盤の安定を図るため、引き続き各町内会長の協力のもと社協会員の拡大に努めました。

また、職員が意欲をもって生き生きと働くことができる環境づくりと、新たな福祉課題に対応するため研修を受講する等資質の向上を図りました。

Ⅱ 理事会・評議員会等

1 理事会

開催日	出席者	会議の内容
平成30年6月7日	11名	<p>平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>①平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告</p> <p>②平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算 監査報告</p> <p>③平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について</p> <p>④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会の理事及び監事選出に関する規程の一部改正について</p> <p>⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託員就業規則の一部改正について</p> <p>⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について</p> <p>⑧社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員の開催について</p> <p>平成29年度人吉市善意銀行事業報告</p>
平成30年12月27日	9名	<p>平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>①会長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p> <p>その他 平成30年度人吉市社会福祉のつどい開催について 歳末たすけあい演芸会について</p>
平成31年1月17日	12名	①平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会職員採用試験の実施について ※
平成31年3月16日	10名	<p>平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第5次流用予算書の専決処分について（報告）</p> <p>①平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算書案について</p> <p>②平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について</p> <p>③平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について</p> <p>④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について</p> <p>⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所職員就業規則の一部改正について</p> <p>⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員会の開催について</p> <p>⑧社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について</p> <p>平成30年度社会福祉法人の指導監査の結果について</p> <p>その他 人吉市地域福祉活動計画進捗及び評価について</p>

※は、書面審議によるもの

2 評議員会

開催日	出席者	会議の内容
平成30年6月25日	17名	平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算書の専決処分について（報告） 平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次流用予算書の専決処分について（報告） ①平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告 ②平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算 監査報告 ③平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会の理事及び監事選出に関する規程の一部改正について ⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会理事の選任について
平成31年3月28日	16名	平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次流用予算書の専決処分について（報告） 平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次流用予算書の専決処分について（報告） 平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算書の専決処分について（報告） 平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第5次流用予算書の専決処分について（報告） ①平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ②平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について ④人吉市地域福祉活動計画の進捗状況及び評価について（報告）

3 評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	会議の内容
平成30年6月11日	5名	①社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員の選任について

4 監査

開催日	出席者	会議の内容
平成30年5月24日	2名	平成29年度 業務執行状況並びに経理状況について
平成30年11月15日	2名	平成30年度 上半期業務執行状況並びに経理状況について

5 役員等研修会

開催日	出席者	会議の内容
平成31年2月25日	26名	役員・評議員等研修会（地域共生社会の実現にむけた社協活動）

Ⅲ 専門部会の活動について

1 企画財政部会

開催日	出席者	会議の内容
平成30年5月31日	8名	平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算書の専決処分について（報告） 平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次流用予算書の専決処分について（報告） ①平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告 ②平成29年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算 監査報告 ③平成29年度人吉市善意銀行事業報告

開催日	出席者	会議及び行事の内容
平成30年12月20日	7名	部会長選任 平成30年度人吉市年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次流用予算の専決処分について(報告) 平成30年度人吉市年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次流用予算の専決処分について(報告) ①社会福祉協議会会長表彰規程の一部改正について ②会長表彰審査会 ③「平成30年度人吉市社会福祉のつどい」について
平成31年1月28日	7名	①「平成30年度人吉市社会福祉のつどい」について 役割分担 ②歳末たすけあい演芸会事業報告 ③役員等研修
平成31年3月6日	8名	平成30年度人吉市年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第4次流用予算の専決処分について(報告) 平成30年度人吉市年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第5次流用予算の専決処分について(報告) ①平成30年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ②平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③平成31年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について

2 地域福祉部会

平成30年度は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らす為に、地域住民が支え合い、自分らしく活躍できる体制づくりのため、生活支援体制整備事業の研修や、生活支援コーディネーターによる事業の説明を行いました。校区民児協・校区社協・ボランティア等、様々な立場からご意見をいただき、今後の校区単位での事業展開に活かしていけるよう、引き続き部会の中で取り上げていくことになりました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
平成30年5月31日	7名	研修会 「より身近な地域で行う住民同士による支え合い・助け合いの地域づくり」 講師：さわやか福祉財団 鶴山 芳子 氏
平成31年1月18日	2名	第1回 地域福祉部会三役会 ①平成30年度部会活動について
平成31年3月6日	8名	第1回 地域福祉部会 生活支援体制整備事業の取組みについて

3 児童福祉部会

小学6年生対象のボランティアスクールは14施会場で開催しました。1日目に社協でボランティアに関する学習会を開催し、2日目に施設でのボランティア体験を行いました。中高生対象のボランティア体験教室は名称を福祉の職場体験事業と変更し、福祉施設コース・保育園コースの2つの体験となりました。また、今年度も災害ボランティアコースを実施しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
平成30年4月3日	3名	第1回児童福祉部会三役会 ①児童福祉部会視察研修の振り返り ②部会開催について
平成30年5月7日	14名	第1回児童福祉部会 ①平成29年度事業報告・平成30年度事業計画について ②児童福祉部会視察研修の振り返り ③夏のボランティア体験行事等について
平成30年5月30日	3名	第2回児童福祉部会三役会 ①夏のボランティア体験行事等について
平成30年6月13日	14名	第2回児童福祉部会 ①夏のボランティア体験行事等について

開催日	出席者	会議及び行事の内容
平成30年7月2日	3名	第3回児童福祉部会三役会 ①夏のボランティア体験行事等について
平成30年7月11日	14名	第3回児童福祉部会 ①夏のボランティア体験行事等について
平成30年7月22日 平成30年8月8日		中高校生のための災害ボランティアコース
平成30年7月25日 ～8月10日		ボランティアスクール（日帰り2日間）
平成30年8月6日 ～8月10日		福祉の職場体験事業（日帰り2日間）
平成30年9月20日	2名	第3回児童福祉部会三役会 ①夏のボランティア体験行事等について
平成30年10月18日	9名	第4回児童福祉部会 ①夏のボランティア体験行事について（感想・反省等） ②感想文の校正について
平成30年11月5日 11月9日		感想文校正
平成31年3月19日	3名	第4回児童福祉部会三役会 ①平成30年度の報告と次年度の計画について

4 調査広報部会

今年度から、よりタイムリーな内容を届けるため隔月（年6回・8ページ）に発行し、社協が行っている事業やサービスの案内に加え、様々な地域の取り組みも紹介しました。今後も地域福祉に関する情報を積極的に発信していきます。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
平成30年4月5日	4名	社協だより188号 編集会議・初校
平成30年4月12日	5名	社協だより188号 二校
平成30年4月19日	5名	社協だより188号 三校・社協だより189号企画検討会議
平成30年5月1日		社協だより No188号発行
平成30年6月8日	7名	社協だより189号 編集会議・初校
平成30年6月14日	5名	社協だより189号 二校
平成30年6月20日	5名	社協だより189号 三校・社協だより190号企画検討会議
平成30年7月2日		社協だより No189号発行
平成30年8月10日	5名	社協だより190号 編集会議・初校
平成30年8月16日	5名	社協だより190号 二校
平成30年8月22日	5名	社協だより190号 三校・社協だより191号企画検討会議
平成30年9月3日		社協だより No190号発行
平成30年10月4日	6名	社協だより191号 編集会議・初校
平成30年10月11日	5名	社協だより191号 二校
平成30年10月17日	5名	社協だより191号 三校・社協だより192号企画検討会議
平成30年11月1日		社協だより No191号発行
平成30年12月10日	6名	社協だより192号 編集会議・初校
平成30年12月19日	5名	社協だより192号 二校
平成30年12月25日	5名	社協だより192号 三校・社協だより193号企画検討会議
平成31年1月15日		社協だより No.192号発行
平成31年1月31日	7名	社協だより193号 編集会議・初校
平成31年2月7日	5名	社協だより193号 二校
平成31年2月18日	5名	社協だより193号 三校・社協だより194号企画検討会議
平成31年3月1日		社協だより No193号発行

IV 校区社協活動

人吉市の校区社協は昭和33年に結成されました。地域の福祉課題とニーズに沿って、福祉活動を展開しています。6つの校区社協で組織する校区社協連絡協議会で連絡・調整を行い、市社協と連携しながら事業推進しています。少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加する中、校区社協は地域福祉活動の中心的役割を担い、校区内の町内会、民生児童委員、くらし見守り相談員、シニアクラブなどの関係者が連携して、小地域ネットワーク活動、ミニサロン、老人給食ボランティア、子ども食堂等を実施しています。

①東校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月17日(木)H29年度事業報告・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査	開催回数 12回 <ul style="list-style-type: none"> 4月 5日(木) ・会計監査 4月16日(月) ・総会準備 5月14日(月) ・総会準備 6月18日(月) ・総会振り返り、社協だより検討 7月17日(火) ・民生児童委員、くら相員、校区社協役員による活動状況報告等 8月20日(月) ・校区社協福祉研修会反省、校区社協だよりについて 9月19日(水) ・校区社協主催研修会について、校区社協だよりについて 10月15日(月) ・校区社協主催研修会について、校区独自2事業について 11月19日(月) ・民生児童委員、くら相員、校区社協役員による活動状況報告 12月21日(金) ・事業進捗状況確認 1月21日(月) ・校区社協だよりについて、生活協力援助事業について 2月18日(月) ・校区社協だより発行について、役員研修反省 3月18日(月) ・役員研修の活かし方
校区社協福祉推進委員会	開催回数1回 7月27日(金) <ul style="list-style-type: none"> ・講話「健康で長生きしよう」市高齢者支援課 西 由紀子氏 ・実技「人吉ころぼん体操」
ネットワーク推進会議 (町内単位で開催)	田町(2回)、麓町(1回)、南寺町(2回)、新・灰久保・土手・老神町(2回) 二日町(2回)、七日町(2回)、五日町(2回)、九日町(2回)、大工町(2回) 鍛冶屋町(2回)、紺屋町(2回)、上新町(2回)、下新町(1回)、鬼木町(2回) 北願成寺町(2回)、南願成寺町(2回)、南泉田町(2回)、北泉田町(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	七日町(1回)、紺屋町(1回)、上新町(2回)、下新町(1回)、鬼木町(2回)、 北願成寺町(4回)南願成寺町(1回)、南泉田町(2回)、新町(2回)
校区社協視察研修(役員)	2月6日(水)水俣市田平地区「ふれあい生き生きサロン」視察研修
校区社協研修会	11月9日(金)講話「市社協活動から見えてきたもの」市社協 大柿 正彦氏
日常生活協力援助事業	14人に記念品贈呈
子どもと高齢者の交流事業	田町：人吉乳児園児とデイサロン参加者とのふれあい「七夕会」 北泉田町：敬老会で泉田保育園児との交流 南泉田町：敬老会で子供会児童との交流 紺屋町：子供会と高齢者のふれあいサロン 上新町：餅つき大会
公民館との共催	ペタンク大会 平成31年3月10日(日)東小学校
校区社協だより発行(2回)	10月1日(月)・3月1日(金)

②西校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月29日(火) H29年度事業・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査	開催回数10回 <ul style="list-style-type: none"> 5月17日(木) ・会計監査 5月17日(木) ・総会に向けた協議等 5月22日(火) ・総会準備 7月4日(水) ・地域ふれあい福祉事業助成金配布等 11月26日(月) ・キューピーみらいたまご財団助成金交付申請打合せ 11月29日(木) ・キューピーみらいたまご財団助成金交付申請書類作成 1月17日(木) ・校区幹部研修、ニコニシ食堂、校区社協だよりについて 2月 4日(月) ・キューピーみらいたまご財団助成金契約関係 2月28日(木) ・校区社協だより編集企画について 3月18日(月) ・校区社協だより編集最終校正について

行事名	主な内容
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	合ノ原町(2回)、井ノ口町(2回)、城本町(2回)、瓦屋町(2回)、鶴田町(2回) 上青井町(2回)、中青井町(2回)、下青井町(2回)、駒井田町(2回)
ミニサロン (町内単位で開催)	合ノ原町(1回)、井ノ口町(2回)、城本町(2回)、瓦屋町(2回)、鶴田町(2回) 上青井町(1回)、中青井町(2回)、下青井町(2回)、駒井田町(2回)
校区社協研修2月14日(木)	人吉ころばん体操実演 58名参加 市高齢者支援課 西 由紀子氏
西小ふれあいグラウンドゴルフ大会 11月20日(火)	西小グラウンドにて西校区民児協との共催
校区民ふれあいグラウンドゴルフ大会 3月17日(日)	公民館との共催 138名参加
校区社協だより発行(1回)	3月30日(土)発行
地域ふれあい福祉事業	鶴田町：町内会館折りたたみテーブル購入 合ノ原町：地域サロン(よけまん会) 井ノ口町：八幡さん清掃、地域サロン(かたらん会)、ふれあいGゴルフ 瓦屋町：縁がわサロン(かたらんね～) 中青井町：高齢者のおしゃべり会 下青井町：クリスマス・餅つき会 城本町：古墳祭り・体育祭参加者送迎支援、誕生日お祝い、入院お見舞い 駒井田町：老人会と子ども会の交流
子育て支援事業 (ニコニシ食堂) 子ども食堂毎月1回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・4月22日(日) 子ども10名、大人7名、スタッフ10名 ・5月26日(土) 子ども21名、大人6名、スタッフ14名 ・6月24日(日) 子ども26名、大人15名、スタッフ10名 ・7月21日(土) 子ども19名、大人10名、スタッフ11名 ・8月26日(日) 子ども7名、大人7名、スタッフ9名 ・9月22日(土) 子ども18名、大人5名、スタッフ9名 ・10月21日(日) 子ども30名、大人5名、スタッフ6名 ・11月24日(土) 子ども16名、大人5名、スタッフ10名 ・12月16日(日) 子ども11名、大人8名、スタッフ10名 ・1月19日(土) 子ども14名、大人5名、スタッフ12名 ・2月10日(日) 子ども4名、大人9名、スタッフ9名 ・3月16日(土) 子ども23名、大人14名、スタッフ9名

③東間校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月5日(日) H29年度事業・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査	開催回数2回 4月17日(火) ・会計監査 9月18日(水) ・研修先検討、事業中間報告
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	西間上町(1回)、西間下町(2回)、東間上町(2回)、東間下町(1回)、 蓑野町(2回)、古仏頂町(2回)、木地屋町(2回)、大塚町(2回)、 浪床町(2回)、七地町(2回)、蟹作町(2回)、赤池原町(2回)、 赤池水無町(1回)、赤池水無町外園(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	西間上町(1回)、西間下町(2回)、東間上町(2回)、東間下町(2回)、 蓑野町(2回)、古仏頂町(2回)、木地屋町(2回)、大塚町(2回)、 浪床町(1回)、七地町(2回)、蟹作町(2回)、赤池原町(2回)、 赤池水無町外園(2回)
校区社協視察研修	11月12日(月) たまな元気会岱明自治区 22名参加
老人給食ボランティア	毎月2回第1・第3月曜日(7月・8月は休止)
子育て支援事業	2月配布 新生児お祝い品進呈 9町内28名
子ども育成事業	赤池水無町外園：門松作り、町内会・子ども会合同クリスマス会 七地町：門松作り 田野町：どんどこや、餅つき・ぜんざい 浪床町：心珠塔美化活動、子どもと調理体験・会食 東間上町：どんどこや
校区社協だより発行(1回)	3月15日(金)発行

④大畑校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月10日(木)H29年度事業・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等	開催回数15回
監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月13日(金)・29年度事業報告書作成、30年度総会について 4月27日(金)・総会等の打合せ、役割分担等 5月2日(水)・29年度会計監査 5月18日(金)・社協長会議の報告、事業内容の確認、推進会議・ミニサロンについて 6月21日(木)・生活支援体制整備事業について市社協より説明、意見交換 7月27日(金)・生活支援体制整備事業について意見交換 8月25日(土)・生活支援体制整備事業に係る今後の取り組みについて 8月29日(水)・生活支援体制整備事業について、事業前期活動について状況報告 9月14日(金)・生活支援体制整備事業の取り組みの経緯と、町内会長への説明について 9月27日(木)・生活支援体制整備事業に係る今後の取り組みについて確認等 10月29日(月)・視察研修について検討 11月24日(土)・視察研修について最終確認 1月28日(月)・協議体発会式について、社会福祉のつどいについて、理事会について 2月20日(水)・発会式について、理事会の協議内容について、総会日程等について
理事会	3月10日(日)・平成30年度の各町内活動の報告、意見交換
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	上下田代町(2回)、大畑町・柴笠(2回)、大野町(2回)、大畑麓町・小川内(2回) 上下東漆田町(2回)、矢岳町(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	上下田代町(2回)、大畑町・柴笠(2回)、大野町(2回)、大畑麓町・小川内(2回) 上漆田町(2回)、矢岳町(2回)、下・東漆田町(2回)
校区社協視察研修	12月10日(月)水俣市社会福祉協議会・活動内容について 21名参加
生活支援体制整備事業	
町内会長会	<ul style="list-style-type: none"> 8月7日(火)・町内会長会にて事業内容の説明と意見交換 9月19日(水)・町内会長会にて事業の経過報告と協議
座談会	<ul style="list-style-type: none"> 11月8日(木)・事業説明と地域課題の掘り起し(大野地区) 11月12日(月)・事業説明と地域課題の掘り起し(上・下田代地区) 11月14日(水)・事業説明と地域課題の掘り起し(上・下・東漆田地区) 11月16日(金)・事業説明と地域課題の掘り起し(大畑・大畑麓地区) 11月17日(土)・事業説明と地域課題の掘り起し(矢岳地区)
報告会	12月17日(月)・座談会の報告、検討会
事例発表	2月15日(金)・「お互いさまの支え合いフォーラム」での発表
発会式	3月11日(月)・基調講演「住民同士の支え合いによる地域づくりについて」 講師：さわやか福祉財団 鶴山 芳子 氏 ・意見交換及び協議体設立までの経過報告
校区社協だより発行(3回)	7月1日(日)・10月1日(月)・11月30日(金)

⑤西瀬校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月13日(日)H29年度事業・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等	開催回数 11回
監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月19日(木)・会計監査 4月11日(水)・事業計画協議 5月3日(木)・予算協議 5月13日(日)・総会協議 7月15日(日)・ネット推進会議・ミニサロン実施状況協議 9月20日(木)・研修先協議 9月26日(水)・研修先決定(うきは市) 10月4日(木)・研修内容協議 12月18日(火)・校区社協だより編集委員会 1月28日(月)・校区社協だより編集委員会 2月14日(木)・校区社協だより編集委員会

行事名	主な内容
ネットワーク推進会議 (町内会単位で開催)	宝来町(2回)、相良町(2回)、上薩摩瀬町(2回)、下薩摩瀬町(2回) 下城本町(2回)、矢黒町(1回)、永野町(2回)、上戸越町(2回)、下戸越町(2回) 鹿目町(1回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	宝来町(2回)、相良町(2回)、上薩摩瀬町(2回)、下薩摩瀬町(2回) 下城本町(1回)、矢黒町(1回)、永野町(1回)、上戸越町(2回)、下戸越町(2回) 鹿目町(2回)
校区社協視察研修	11月16日(火)福岡県うきは市江南地区自治協議会 29名参加
生活支援体制整備事業 2月19日(火)	市社協より事業内容説明会開催
校区社協だより発行(1回)	3月20日(水)発行

⑥中原校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月12日(土)H29年度事業・決算報告、30年度事業計画・予算審議等
役員会等 監査 5月2日(水) 1月10日(木) 評議員会 3月16日(土) 3月29日(金)	開催回数4回 ・会計監査 ・研修先検討 ・活動及び予算執行状況等の報告 ・会則一部改正等について
ネットワーク推進会議 (町内単位で開催)	中神町大柿(2回)、中神町小柿(2回)、中神町城本(2回)、中神町段(4回) 中神町馬場(2回)、下原田町瓜生田(2回)、 下原田町荒毛(2回)、下原田町堀(2回)、下原田町羽田(2回) 下原田町西門(2回)、下原田町上野(2回)、上林町一区(2回) 上林町二区(2回)、下林町前村(2回)、下林町仮屋(2回)、下林町二区(2回) 中林町(2回)、温泉町(2回)、上原田町上原(2回)、上原田町尾崎(2回) 上原田町馬草野(2回)、上原田町尾曲(2回)、上原田町菖蒲(2回) 上原田町牛塚(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	中神町大柿(2回)、中神町小柿(2回)、中神町城本(1回)、中神町段(2回) 中神町馬場(2回)、下原田町瓜生田(2回)、 下原田町荒毛(2回)、下原田町堀(2回)、下原田町羽田(2回) 下原田町西門(2回)、下原田町上野(2回)、上林町一区(2回) 上林町二区(2回)、下林町前村(2回)、下林町仮屋(2回)、下林町二区(2回) 中林町(2回)、温泉町(2回)、上原田町上原(1回) 上原田町菖蒲(2回)、上原田町馬草野(2回)、上原田町牛塚(2回)
校区社協研修 2月26日(火)	公民館との合同研修(鹿児島県日置市高山地区公民館活動 33名参加)
老人給食ボランティア	毎月1回第2水曜日(7~8月は休止)
世代間交流	上原田町菖蒲(48名)もぐら打ち・ぜんざい会 下林町前村(35名)グラウンドゴルフ・会食 下林町二区(54名)餅つき 中林町(51名)グラウンドゴルフ・会食 下原田町堀(27名)しめ縄づくり・会食 上林町二区(20名)七夕祭り・会食
生活支援体制整備事業 発会式 6月29日(金) 意見交換会 8月30日(木) 協議会 7月25日(水) 8月10日(金) 9月18日(火) 10月3日(水) 12月21日(金) 2月4日(月) 2月13日(水) 協議体視察 3月16日(土) 事例発表 2月15日(金)	・協議体設立 ・校区内地縁団体等より43名参加 ・合同意見交換会協議 ・合同意見交換会協議 ・合同意見交換会振り返り ・なかはら生活支援協力隊について ・なかはら生活支援協力隊について ・事業推進について ・事業推進について ・管内地域活動団体等の視察 ・「お互いさまの支え合いフォーラム」での発表
校区社協だより発行(1回)	3月1日(金)発行

⑦校区社協連絡協議会関係

行事名	主な内容
監査	4月16日（月）会計監査
役員会3回	5月23日（水） 助成金について・決算報告について 等 社協長会議…書類の配布説明 9月18日（火） 各校区より事業の進捗状況報告、意見交換 生活支援体制整備事業及びネットワーク推進会議について 2月27日（水） 30年度事業報告・決算（案） 31年度事業計画・予算（案）について
定例会2回	6月19日（火） 29年度事業報告・決算、監査報告 30年度事業計画（案）・予算（案）について 3月14日（木） 30年度事業報告・決算、31年度事業計画・予算（案）について 30年度校区社協活動計画進捗状況報告会
研修会	2月15日（金）社会福祉のつどい 「お互いさまの支え合いフォーラム」 中原校区・大畑校区より事例発表 1月15日（火）地域福祉推進フォーラム（熊本市） 基調講演：「地域共生社会の構築に向けて」 講師：大分大学 福祉健康科学部長 衣笠 一茂 氏
協力行事	おくんち祭り街頭募金、歳末たすけあい演芸会、社会福祉のつどい

2 小地域ネットワーク

校区社協を中心に各町内単位（小地域）で見守りのネットワークを作っています。

下記のネットワーク（見守り）対象者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、目配り気配りの支え合い活動が行われています。

人口はH31年3月（市統計年鑑より）、ネット対象者数はH31年3月末現在（単位：人）

ネットワーク数	人口・割合				65歳以上		ネットワーク対象者		
	男	女	合計	割合	人口	割合	男	女	合計
東校区	3,846	4,613	8,459	26.2%	2,792	33.0%	55	203	258
西校区	2,501	3,020	5,521	17.1%	2,104	38.1%	23	124	147
東間校区	2,672	3,050	5,722	17.7%	1,990	34.8%	63	164	227
大畑校区	740	848	1,588	4.9%	706	44.5%	30	58	88
西瀬校区	2,198	2,553	4,751	14.7%	1,728	36.4%	35	95	130
中原校区	2,930	3,338	6,268	19.4%	2,245	35.8%	55	135	190
合計	14,887	17,422	32,309	-	11,565	35.8%	261	779	1,040

ネットワーク対象者は原則として、下記の中から特に見守りが必要な人とされる方です。

- 1 75歳以上の一人暮らし
- 2 高齢者のみ世帯（元気な場合概ね80歳以上、病気がち75歳以上）
- 3 3ヶ月以上の寝たきり高齢者
- 4 認知症及び認知症状がみられる者
- 5 昼間一人暮らし高齢者（概ね80歳以上）
- 6 障がい者等
- 7 町内の推進会議で見守りが必要と認められた人

3 ミニサロンの開催状況

ネットワーク対象者と援助者との交流の場として、町内単位で実施しました。

	人口 人	ネット 対象者 人	ミニサロ ンの回数 回	対象者の 出席者数 人	援助者の 出席者数 人	出席者数 総数 人	1回平均 出席者数 人
東校区	8,459	258	16	320	134	454	28
西校区	5,521	147	16	381	141	522	33
東間校区	5,722	227	24	362	147	509	21
大畑校区	1,588	88	14	152	125	277	20
西瀬校区	4,751	130	18	368	169	537	30
中原校区	6,268	190	42	534	241	775	18
合計	32,309	1,040	130	2,117	957	3,074	24

4 給食ボランティア事業

75歳以上のひとり暮らしの高齢者で食事の準備に苦勞されている方や、重度の身体障害者の方等を対象に、訪問給食サービスを実施していただいています。配食を希望される方々からは大変評判もよく、毎回楽しみに待っておられます。また、地域のボランティアの方々の活躍の場ともなっています。

		4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東間校区	回数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	19
	対象者数	83	83	86	78	86	76	84	33	67	97	773
	V○数	43	41	44	31	34	36	33	15	30	35	342
中原校区	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	対象者数	37	41	42	41	40	43	43	42	42	48	419
	V○数	14	15	15	14	13	13	14	14	12	12	136
合計	回数	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	29
	対象者数	120	124	128	119	126	119	127	75	109	145	1,192
	V○数	57	56	59	45	47	49	47	29	42	47	478

V 地域福祉事業の推進

1 安心生活創造事業

23年9月に発足した「安心生活応援団」は、地域住民が安心して暮らせるように、市内で働く人たちが地域の方に優しく声かけをし、そっと温かく見守る取組みを日常業務の範囲内で行っています。小地域ネットワーク活動とあわせて、より重層的に見守りを行うことで、気になる世帯の発見や早期の対応につながっています。3月25日にはセブンイレブン・ジャパンと人吉市と、高齢者の見守りに関する三者協定を締結し、連携を深めました。

登録事業所から社協に連絡があった場合は、地域包括支援センターや関係機関と連携し対応をしています。また、応援団事業所の従業員向けに「はっぴー通信」を年3回発行し、登録事業所の活動事例の紹介や、従業員向けの手引書の配布を行い、見守り活動に役立つ社会資源等の情報発信に力を入れました。

平成30年度末現在の登録事業所数 165 件

2 命のバトン事業

命のバトンとは、高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため、かかりつけ医や飲まれている薬の情報、持病や既往歴、緊急連絡先等を情報書に記載し、その情報書、診察券・健康保険書の写しなどを専用の容器に入れて冷蔵庫に保管することで万一の救急時に備えるものです。

平成24年から集計を取り始めて7年が経ちました。2月には民生委員さんに一斉更新を依頼し、新たな名簿を提出いただいています。救急搬送時に命のバトンのおかげでスムーズな対応ができたという事例も消防署より報告があがっています。30年度末で命のバトンの配布数は以下の通りです。

校区	東	西	東間	大畑	西瀬	中原	合計
件数	534	462	384	124	294	374	2,172

3 買い物支援事業

近くに商店がない、交通手段がないなどの理由で買い物に困っている方を対象に、商店街と連携し、商品をお届けするサービスです。宅配だけを目的とせず、訪問時の声かけ・安否確認や困りごとの解消も行っています。9月4日・5日に第二中学校の職場体験学習で1名を受け入れました。新規契約件数は26件にのぼりました。

宅配サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	145	145	146	147	151	153	155	155	151	152	152	156	
利用者数	55	51	48	52	46	45	44	46	42	40	44	41	
宅配回数	189	173	147	172	158	141	164	165	142	131	134	149	1,865 回
見守り訪問数	87	29	24	86	41	21	97	16	91	16	15	17	540 回

【ちょっとしたお困りごとの件数と内容】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	2	7	10	3	6	6	4	8	9	7	9	74
内容	市役所への書類提出、容器の蓋あけ、郵便物投函、日よけ設置の手伝い カボチャ切り、タクシーの電話予約、すだれ取り外し、壁掛け時計の電池替え ゴミ捨て、通販商品の交換電話、携帯へ番号登録、トイレの電球交換 補聴器の取り扱い説明、補聴器の音量調整												

4 ファミリーサポートセンター

平成31年3月31日現在の会員数は依頼会員91名、協力会員31名、両方会員2名、合計124名となっており主に、就労のための預かり、送迎が約93%を占めるほか、保護者会、美容院、免許更新等の理由により、本サービスをご利用いただきました。

平成30年度活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	21	23	19	21	7	11	24	24	23	19	19	23	234
平日(回)	15	18	15	12	3	7	19	19	18	17	17	16	176
土・日・祝日(回)	6	5	4	9	4	4	5	5	5	2	2	7	58
延べ時間(時間)	61.9	60.3	55.3	64.3	34.3	35.8	71.4	76.4	81.2	52	46.3	73.4	712.6
実依頼会員数(名)	4	5	4	4	4	2	5	4	5	4	4	6	17
実協力会員数(名)	3	5	3	4	2	2	3	3	3	3	3	5	6

研修会等

実施日	内容	参加者
平成31年2月21日 ～3月14日	ファミリーサポート協力会員養成講座(4日間、12時間)	20名
平成31年3月2日	第9回交流会：やさしいがとゆが(美容と健康に良い簡単なと自分で体をほぐす方法など)	13名

5 暮らし見守り相談員事業

地域で見守りが必要な方々の良き話し相手、相談役として活動していましたが、平成30年度から、名称を「高齢者相談員」から「暮らし見守り相談員」に変更し、高齢者だけでなく見守りを必要としている方々が、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるように、見守り対象者を限定せず活動していくことになりました。

①暮らし見守り相談員(91名)活動実績

校区/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
東校区	318	336	300	306	294	329	325	303	259	282	239	255	3,546
西校区	190	173	193	197	179	196	192	198	196	195	169	177	2,255
東間校区	235	290	290	286	273	289	295	301	290	266	257	265	3,337
大畑校区	122	137	143	144	139	160	160	161	137	144	149	130	1,726
西瀬校区	172	189	174	199	166	172	175	171	179	174	160	173	2,104
中原校区	297	299	287	289	277	273	277	258	259	265	249	264	3,294
合計	1,334	1,424	1,387	1,421	1,328	1,419	1,424	1,392	1,320	1,326	1,223	1,264	16,262

1ヶ月一人当たりの平均活動件数：14.8件(前年16.1件)

②暮らし見守り相談員連絡協議会

期日	会議等	内容
平成30年 3月30日	会計監査	会計監査
4月 6日	委嘱状交付式 及び総会	・委嘱状交付 ・H29年度高齢者相談員事業報告・決算報告・監査報告 ・暮らし見守り相談員連絡協議会規約・慶弔規定・役員改選 ・H30年度暮らし見守り相談員事業計画・予算案等
6月 1日	第1回役員会	第1回全体研修の検討、各支部活動について
6月14日	第1回理事会	第1回全体研修役割分担、各支部の活動報告
7月23日	第1回全体研修会 (参加者60名)	講話①「見守り対象者への配慮ある接し方」について 講師：傾聴ボランティア「温もり」代表 久保山 真 氏 講話②「子どもの相談員活動」について 講師：人吉市子ども子育て相談員 永田 幸徳 氏
9月19日	第2回理事会	訪問活動の状況・情報交換、第2回全体研修内容の検討
1月30日	第2回全体研修会 (参加者53名)	「高齢者虐待の早期発見」 講師：熊本県高齢者・障害者虐待対応専門チーム 白石 雄貴 氏
3月13日	第2回役員会	H30年度事業報告・決算、31年度事業計画・予算案等
3月15日	第3回理事会	H30年度事業報告・決算、31年度事業計画・予算案等

※上記の他・おくんち祭り街頭募金・歳末たすけあい演芸会・社会福祉のつどい・デイサロン・小地域ネットワーク事業への協力を行いました。

6 人吉市生活支援体制整備事業

【取組みの概要】

受託事業としての3年目を迎え一定の事業成果が求められることから、本年度は市内6小学校区（生活圏域毎）における、第2層の協議体（住民同士の話し合いの場）及び生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置について、中原校区をモデルとして先行し引き続き大畑校区と西瀬校区2圏域での整備完了を目指し進めてまいりました。

結果として、中原校区では協議体、生活支援コーディネーターともに、既に、実働しており具体的な地域づくりのための活動に着手しました。

大畑校区では、協議体の母体となる校区社協理事会等との協議を重ね、地区別座談会の開催を踏まえ、年度末に協議体の設立及び生活支援コーディネーターの配置、並びに活動拠点の整備が完了しています。

西瀬校区においては、校区社協及び町内会長会等に対する説明会や研修会を開催し協議を重ねてまいりましたが、現時点での設置には至りませんでしたので、新年度早々の対応につなげてまいりたいと思います。ただ、併せて推進を図ってきた「地域サロン立ち上げ」の普及については、これまでの体制とは全く異なる新たな「西瀬型のサロン」が設置され、今後のサロン活動の在り方として期待がされるところです。なお、残された3校区（東・西・東間校区）については、新年度に着手し令和元年度中の完了を予定しているところです。

また、昨年10月31日をもって、第1層協議体「人吉市生活支援体制整備推進協議会」委員任期が満了となり、翌11月1日から第2期の協議体運営がスタート致しております。

いずれにしても、今後の事業推進においてもハードルの高い厳しいスケジュールになることが想定されますので、新たな協議体委員との連携を図りながら円滑な事業遂行に努めて参ります。

■ 平成30年度事業主要取組みの成果

圏域区分	実施区分	実施事項及び内容	特記	
第1層 圏域 事業	事業の進捗管理 円滑・適正 推進への対応	<第1層協議体の定期開催による適正事業の遂行> 5・9・12月（定例会議）・2月（福祉フォーラム参加） 3月（関係団体合同による先進地視察研修の実施）	運営の充実、適正化促進 ・5月（委員追加） ・10月（任期満了改選）	
		<生活支援コーディネーター研修会等への出席> 8月（基礎編）・10月（応用編）・11月（県南ブロック） 12月（NPO法人主催移動・外出支援シンポジウム）	県社協主催研修会等への積極参加による研鑽	
		<定例校区社協役員会における報告、協議> 6・9・2月（事業報告及び検討）、3月（合同視察研修）	協議体の母体組織とするための円滑形成促進	
	事業の周知、 啓発、構築等 に関する研修 会、説明会等 の実施	<6校区各社協総会時における事業概要の説明> 事業実施及び協議体設置の意義と意識の啓発	姿勢、体制の在り方に課題（温度差の視点）	
		<第1層協議体委員、行政・社協職員対象研修会> 関係する者の総理解と認識の共有（一体的義務）	外部講師招聘による研鑽 （さわやか福祉財団） ・5月30日（社協） ・5月31日（中小企業大学）	
		<校区社協役員、社協地域福祉部会対象研修会> 地域の中核者で事業牽引的人材の意識啓発		
		<市社協地域福祉部会研修及び意見交換会> 3月（当該事業概要及び実施体制の説明、協議）	社協活動の中軸部会への意識啓発と協力要請	
			<地域サロンの拡充に向け説明会、検討会の実施> 4月（市営団地管理人会における取組み説明） 8月（南町福祉会へ取組みの説明、協議） 随時（地域サロン設立の支援、協力 3団体設置）	行政の横断的対応及び積極支援が不可欠 （市担当課との要連携）
	第2層 圏域 事業	中原校区の 活動等	<活動供用開始（6月29日）> 協議体「なかはら生活支援協議会」の設立、生活支援コーディネーターの配置、活動拠点「支え合いセンターなかはら」の整備	第2層生活支援コーディネーターの選任像（あり方）に重要な課題発生
			<協議会役員会及び協議会の定期開催> 活動の方向、内容等について協議 （7/25・8/10・9/18・10/3・12/21・2/4・2/13・）	仕組みづくりは時間が必要、急がずしっかりと対応していくことを確認 情報の収集・共有から
<第1・2層生活支援コーディネーター月例会開催> 知識の習得、資質向上の研鑽機会として実施			第2層の主体性（自主性）確立に課題発生	
<校区内地縁団体等合同意見交換会（8月30日）> 校区の現状確認及び方向性の検討、情報の共有			住民43人参加 ・グループワーク協議 ・助け合いゲーム体験	

第2層 圏域 事業	中原校区の 活動等	<「なかはら生活支援応援団」会員登録調査（1月15日）> 中原校区全戸対象（町内広報配布を介し2500枚配布）	・事業の末端への周知 ・回収法に課題(要検討)
		<お互いさまの支え合いフォーラム事例発表（2月15日）> 地域づくりの一步は、人づくりと優れた地域素材（社会資源）を活用し、校区一丸となった体制づくりから	校区による推進体制構築の理解と実践（実働）の助長、促進
		<校区社協・公民館役員合同視察研修開催（2月26日）> 地域ぐるみによる支え合い活動（共生・協働）実践の研鑽	高齢者ビジネス（喜び遊び心）を包含し生きがいを基軸に(収穫大)
		<管内（足元）の先進地域活動団体等の視察（3月16日）> 活動状況の確認、情報収集による協議体の認識共有	先の不安、課題はあるが今できることが原点
		<「支え合いセンターなかはら」だより No.1発行（3月末）> 情報提供、活動周知の手段として定期的発行を目指す	活動の見える化、見せる化（情報発信の確立）
	大畑校区の 活動等	<協議体等設立に向けた説明及び協議の実施)> ・5月10日「総会時に協議体設立意義等の説明」 ・5月31日「社協主催研修会に校区社協役員参加」 ・6月21日「校区社協役員への説明及び意見交換」 ・7月27日「校区社協理事会への説明及び意見交換」 ・8月7日「校区町内会長会への説明及び意見交換」 ・8月29日「校区社協理事会における具体取組みの協議」 ・9月14日「校区社協役員会における取組み方向の検討」 ・9月19日「校区町内会長会へ経過報告と今後の協議」 ・1月28日「校区社協理事会における協議体設立の協議」	地域志向の重視 * 地域主導、住民主体の活動であることの強い自覚を持ち実施すべきことを念頭に * 地域が住民がしっかり理解し、皆が同じ方向に向く観点が重要 * 時間を要し、会を重ね皆が納得することで、事業スタートできる
		<地区別座談会の開催及び報告会> ・11月8日 「大野地区（23名出席）」 ・11月12日 「田代地区（20名出席）」 ・11月14日 「漆田地区（14名出席）」 ・11月16日 「大畑地区（25名出席）」 ・11月17日 「矢岳地区（14名出席）」 ・12月17日 「校区社協、町内会長会にて報告、検討会」	* 校区社協役員、市担当職員同席開催 * 事業理解の末端浸透、地域課題の掘り起し、将来への思い等々、様々に提起（収穫大） * SC推薦について依頼
		<お互いさまの支え合いフォーラムでの事例発表> ・2月15日「これまでの取組みの経過について報告」 町内単位の安定した連携組織の編成ができてこそ、校区組織が機能することの在り方を最重視（目標設定）	校区主導（特色を生かした独自性）の取組み手法として高評価
		<協議体設立発会式の開催（3月11日）> ・協議体委員の構成及び名称の決議 ・大畑校区生活支援コーディネーターの選任決議 ・大畑校区公民館を活動拠点とすることの決議 ・基調講演「住民相互の支え合いによる地域づくり」開催	実働体制の確定による活動のスタート さわやか福祉財団講師招聘
		<活動の実践> ・民間事業者との連携、協力依頼の協議（H31. 2） ・活動拠点（大畑コミセン）の整備（H3. 3） ・第2層生活支援コーディネーター始動（H31. 3） ・合同研修会への協議体役員、SC出席（H31. 3） ※社会福祉法人と連携した外出支援の先進事例	* 電動カー充電箇所整備 * 市主管課調整、協議 * 校区社協との一体活動 * 鹿児島県鹿屋市視察（社協及び柳谷集落）
西瀬校区の 活動等	<協議体等設立に向けた説明及び協議の実施)> ・5月13日「総会時に協議体設立意義等の説明」 ・7月11日「校区町内会長会への説明及び協力依頼」 ・11月16日「校区社協推進員先進地視察（うきは市）」 ・12月18日「校区社協役員会における取組み対応協議」 ・2月15日「校区社協役員による支え合いフォーラム参加」 ・2月19日「校区社協推進員全体研修」 ・3月19日「校区社協長研修会（第1層協議体合同）出席」	事業課題の傾向 * 協議体設立の意思統一に時間を要す状況にあり早急な策（協議の場合）代表を設定し、新年度早々の設立に着手 * 活動拠点の所在地への固執先行に課題あり * 地域の意向に行政課題	
	<活動の実践> 西瀬発の新たなスタイルのサロンの場を開設（H30. 9） ※利用法、運営法を規制しない自由開放の道端サロン	* 広報ひとよし、社協だより等の掲載（見せる化）による、先駆機能を形成	

7 健康マージャン初心者教室実施事業

【取り組みの概要】

社協事業の基軸となる「地域福祉の推進」に即した、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」の一途として、地域主導(住民主体)による交流の場(拠り所)の設置、促進を図り、専ら、社協が実施する多様なサービス基盤の新たな起点となることを目指し、ゲーム感の中に健康志向が高く、昨今のブームにある「高齢者向けの健康マージャン」を、生き生きサロンの拡充策と捉え、本市において先駆的に取組み、地域に広く啓発し普及、定着を図ることで地域福祉の幅を広げることにつなげます。

なお、当事業は熊本県社会福祉協議会の「平成30年度熊本県社会福祉基金助成事業」を活用し単年度事業として実施しました。

○目的

新たな介護予防策としての浸透を図り底辺を広げることで、新高齢者の仲間づくりと健康(特に認知症予防)づくりに努める。

○講座名

人吉市健康マージャン初心者教室

○対象者

市内在住60歳以上の初心者

○受講者数

24名(上限として×切) 男性7名・女性17名(平均年齢72歳)

○開催要領

毎週水曜日(3時間)×6箇月

○財源

県社協助成金20万円、受講料 一人1,000円/月、他

【取り組みの成果】

半年間、楽しく学ぶことができよかった。マージャンの魅力、奥の深さにのめりこみこれで終わることなく、もっと極めたいという総意のもとで、受講期間が終了した現在も自主的なサークル活動を継続し楽しんでおられる。

そこには、多くの貴重な仲間づくりができ、介護予防の絶対的効果を体感し、生きがいづくりの場としての大きな役割を持つことが裏付けられ、地域福祉の一翼を担うことにつながればという思いがあると考えます。

なお、具体の成果等につきましては、広く周知するため社協だより、人吉新聞に掲載し紹介をしております。

8 ふれあいサービス事業

地域住民参加型の在宅福祉有償サービスである「ふれあいサービス事業」は介護保険など公的サービスの補完的な役割を担っています。平成30年度利用会員は2名、協力会員は1名でした。

【平成30年度活動実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス時間	5	0	4	4	4	6	5	4	4	4	4	4	48
回数	5	0	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4	47
実利用者数	2	0	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2
実協力者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス内容	衣替え 家事	家事	家事	家事	家事	家事	買い物 家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事

9 人吉球磨成年後見センター

遺産相続、財産管理にともなう成年後見申立の相談が増えています。法人後見については受任件数の増加により「市民後見人」を委嘱し業務を行っています。今年度10名の市民後見人が対象者の方の面会訪問や支払い等を行いました。

○成年後見制度についての相談窓口、電話相談、訪問相談件数

来所	電話等	訪問	ケース会議	その他会議	研修会	計
209	1456	1619	11	3	9	3,307

・相談会（上半期）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
住宅・宅地・境界	0	1	0	1	0	0	2
家族	0	0	0	0	0	0	0
結婚・離婚	0	0	0	0	0	0	0
人権・法律	0	0	0	0	1	0	1
遺言・相続・財産	0	1	0	2	0	0	3
消費者問題・債務	0	0	0	0	0	0	0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	1
合計	1	2	0	3	1	0	7

・相談会（下半期）

相談内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住宅・宅地・境界	0	0	1	1	1	0	3
家族	0	0	0	0	0	0	0
結婚・離婚	0	1	0	0	0	0	1
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0
遺言・相続・財産	2	4	2	1	2	1	12
消費者問題・債務	1	0	0	0	0	0	1
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	1	1
合計	3	5	3	2	3	2	18

○法人後見事業

・受任状況（平成31年3月31日時点）

類型	後見	保佐	補助	計
受任件数	57	6	0	63

・新規受任、終了等（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

類型	後見	保佐	補助	終了
受任件数	21	2	0	5

・市民後見人活動状況（平成30年7月～平成31年3月）

活動月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	9	10	10	10	9	10	10	10	10
活動回数	20	25	28	36	31	38	41	32	44

※弁護士・司法書士・行政・社協の代表者による受任審議会を12回開催しました。

○成年後見人養成講座

基礎編

期 間	平成30年7月19日（木）、20日（金）
時間・回数	1日目：4.5時間 2日目：5時間 2日間計：9.5時間
会 場	錦町役場3階大会議室
講 師	熊本県弁護士会、リーガルサポート人吉支部、熊本県社会福祉士会、吉田病院
受講対象者	人吉球磨に在住の方
受講者数	11名（全参加者修了）

実践編

期 間	平成30年8月23日（木）、24日（金）
時間・回数	1日目：4.5時間 2日目：4時間 2日間計：8.5時間
会 場	錦町役場3階大会議室
講 師	熊本県弁護士会、リーガルサポート人吉支部、熊本県社会福祉士会 球磨福祉事務所、第二つつじヶ丘学園
受講対象者	人吉球磨に在住の方
受講者数	8名（全参加者修了）

フォローアップ研修

期 間	平成30年9月11日（火）
時間・回数	18:30～20:30（2時間）
会 場	錦町役場3階大会議室
講 師	リーガルサポート人吉支部
受講対象者	平成29、30年度成年後見人養成講座実践編 修了者
受講者数	12名

○普及・啓発

成年後見セミナー（一般住民向け）

日 時	平成30年5月22日（火）、7月24日（火）、8月28日（火） 14:00～16:00
場 所	五木村役場、水上村公民館、山江村農村環境改善センター
参加者	五木村 24名、水上村 15名、山江村 21名、計 60名
講 演	「こんな時どうする？成年後見制度活用のすすめ」
講 師	司法書士 宮本 稔也

* 運営委員会：平成30年8月16日（木） H29事業報告、H30事業進捗状況、法人後見受任状況

* 専門職等連携会議：毎月第2木曜日 18:30から開催

10 地域福祉権利擁護事業

福祉サービスの利用援助、利用に伴う日常生活上の金銭管理や、新規相談の多くは多重債務や浪費で、債務整理等が必要なため契約までに時間を要したり契約までに至らないケースもあります。平成30年度は新たに6件の契約がありました。また、解約件数は8件で、うち後見人等への移行が3件、死亡による終了が3件、本人希望による解約が2件でした。

※契約数

類型	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
契約者数（人）	26	4	13	0	43

※生活支援員による支援回数

支援回数（回）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	95	106	94	93	118	104	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1,240
	116	104	105	101	104	100	

11 生活困窮者自立相談支援事業

事業を開始して4年間が経過しましたが、これまで終結としていた方が、再び困窮状態となって相談につながるケースが数件ありました。また、複雑多様化する課題に対して、関係機関と連携会議を数回開催しました。相談主訴を把握し、適切な機関につなぎ、つないだ後もしっかりフォローをしながら自立に向けた支援を行っています。

○実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規受付	11	12	8	6	4	6	11	5	10	3	9	11	96
電話相談・連絡	52	63	54	88	28	8	83	61	45	59	51	59	651
訪問・同行支援	29	36	49	43	11	22	45	43	27	34	25	26	390
面談	59	39	54	39	22	27	65	38	52	57	53	69	574
ケース会議	1	3	2	10	9	3	15	14	0	5	4	3	69
他機関との協議（電話照会）	44	64	78	113	27	31	141	79	48	77	64	58	824
終結	7	5	7	2	7	4	7	4	4	1	2	1	51

○相談傾向

住居確保給付金	2	自立相談支援事業による就労支援	23
家計相談支援事業	52	就労準備支援事業	11
就労自立促進事業	18	小口福祉資金	7

最近も相談傾向としまして、世代間に渡っての課題を抱える世帯が多くなってきました。親の困窮状態が子に影響を及ぼし、その孫の生活まで影響を与えることも少なくありません。そういった世帯にはキーパーソンがいないことも多く、改善策を提案するも理解ができず、好転していかないことも多々あります。他には心の病（精神疾患）を抱える人も多くなってきました。思うように働けない、社会に溶け込めない人たちが増えてきています。

○支援調整会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
プラン作成件数	5	10	7	5	5	4	3	4	6	8	7	6	70
評価件数	7	8	8	6	11	5	9	7	7	4	6	3	81

12 生活福祉資金貸付

今年度は1件の貸付を行っています。年金の受給資格を得るために不足分の国民年金保険料を納付するために貸し付けたものでした。他にも生活困りごと支援センターを通してお金に関する相談は多くありますが、借金や債務があり本制度を案内できる方はいないのが現状です。

滞納者への督促をする際、通知をわかりやすくする工夫をしました。問い合わせも数件あり、償還につながりました。

ア. 平成30年度貸付決定状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
総合支援資金		
生活支援費	0	0
住宅入居費	0	0
一時生活再建費	0	0
福祉資金		
福祉費	1	180,863
緊急小口資金	0	0
教育支援資金		
教育支援費	0	0
就学支度費	0	0
不動産担保型生活資金		
不動産担保型生活資金	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	1	180,863

イ. 償還状況

平成30年度末貸付件数	45件
計画どおり	6件
計画より遅い・滞納	39件
償還免除	1件
保留中※	1件
償還完了	8件
平成30年度中償還あり	21件
平成30年度中償還なし	31件

※自己破産で協議中

30年度償還計画（A）

20,900,411円 元金+貸付利子

30年度償還実績（B）

305,696円 元金+貸付利子

差異（A-B）

20,594,715円 元金+貸付利子

償還免除（1件）

568,285円 元金+貸付利子

13 人吉市小口福祉資金貸付

本年度はお金に関する相談があっても、レスキュー事業であったり、家計相談事業につなげることで貸付以外の方法で問題解決を図る傾向が多くみられました。生活困窮者自立支援制度がうまく活用できている、とも言えるかもしれません。

滞納者に関しては振込用紙の発行を行いました。長年償還が滞っていた方の返済につながるなど効果はありました。

29年度末未償還額	3,139,000円
本年度貸付（7件）	272,500円
本年度償還額	533,500円
不納欠損額（4件）	170,000円
本年度末未償還額	2,708,000円
督促状の発行 年2回（6月・1月）	

14 人吉市社会福祉のつどいの開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義を再確認し、今後の福祉のまちづくりに向けて意識を高めるとともに、多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々に感謝の意を表するため、人吉市社会福祉のつどいを開催しました。

内 容	開催日 平成31年2月15日（金） 会場 人吉市カルチャーパレス小ホール 表彰 社会福祉功労者1名・善行者3名・優良福祉団体2団体 社会福祉協議会協助者49名・5団体 「お互いさまの支えあいフォーラム」の中で公益財団法人さわやか福祉財団 理事長清水肇子氏による「助けあいで、いきいきと輝く」と題して基調講演。 実践報告として、「校区社協・校区公民館が一体となった地域一丸の取り組み」について発表者中原校区社協体「なかはら生活支援協議会」代表才尾弘太郎氏と「校区の高齢化率50%到来を想定した将来への備えの取り組み」発表者大畑校区社協「地域支え合い推進会」の代表今井二郎氏と事務局瀬口汎敏氏による実践報告が行われました。
	参加者 町内会長、民生児童委員、くらし見守り相談員、校区社協 安心生活応援団登録事業所 他 250名

Ⅶ ボランティア活動及び福祉教育の推進

1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進

①平成30年度ボランティア協力校の状況

市内小・中・高等学校・専門学校全校をボランティア協力校に指定。当社協実施のボランティア体験事業、環境美化活動、リサイクル活動、募金活動、国際協力活動、地域の高齢者や保育園児や障がい者等との交流活動などを実施し、豊かな心の育成に取り組んでいただきました。

【人吉市社会福祉協議会指定校（12校）】

人吉市立人吉東小学校 人吉市立人吉西小学校 人吉市立西瀬小学校 人吉市立東間小学校
 人吉市立中原小学校 人吉市立大畑小学校 人吉市立第一中学校 人吉市立第二中学校
 人吉市立第三中学校 熊本県立人吉高等学校 熊本県立球磨工業高等学校 九州技術教育専門学校

2 ボランティアセンター登録状況及び活動内容

ボランティア団体登録数	45グループ	1,274名
個人ボランティア登録数		76名
ボランティアニーズ・相談数		10件
人吉市ボランティア連絡協議会	22グループ	242名

②福祉教育出前講座の実施

西瀬小学校	4年生 44名	①高齢者疑似体験 ②視覚障がい者疑似体験（ガイドヘルプ体験）
大畑小学校	3年生 8名 4年生 14名	車いす体験

3 平成30年度 ボランティア体験事業 実績

① ボランティアスクール（対象児童：小学校6年生）

体験内容		・2日間（日帰り） ・施設見学、疑似・車いす体験、食事介護、レクリエーション等	
月 日	施設 名	参加者数	
1 平成30年7月25日	人吉市社会福祉協議会 1日目（東・大畑・中原）	3小学校	30名
2 平成30年7月26日	人吉市社会福祉協議会 1日目（西・東間・西瀬）	3小学校	32名
3 平成30年8月1日	地域密着型特別養護老人ホーム アゼリア	3小学校	5名
4 平成30年8月1日	医療法人 愛生会	2小学校	10名
5 平成30年8月2日	介護老人保健施設 タンポポ	1小学校	7名
6 平成30年8月2日	デイサロン（下城本町公民館）	1小学校	2名
7 平成30年8月3日	デイサロン（段地域学習センター）	1小学校	3名
8 平成30年8月6日	デイサロン（南願成寺町地域学習センター）	1小学校	6名
9 平成30年8月6日	特別養護老人ホーム 龍生園	1小学校	6名
10 平成30年8月7日	介護老人保健施設 リバーサイド御薬園	1小学校	9名
11 平成30年8月7日	養護老人ホーム 延寿荘	1小学校	3名
12 平成30年8月7日	デイサロン（浪床町公民館）	1小学校	4名
13 平成30年8月8日	特別養護老人ホーム 聖心園	1小学校	2名
14 平成30年8月9日	通所リハビリセンター メディケア光永	1小学校	2名
15 平成30年8月9日	デイサロン（上薩摩瀬町公民館）	1小学校	5名
16 平成30年8月10日	障がい者支援施設けやき	1小学校	5名
合 計	14施設 6小学校	計69名（参加実人数）	

② 福祉の職場体験事業 (対象者：中学生以上)

月 日	施 設 名	参加者数	
平成30年7月31日	事前学習会 会場：人吉市総合福祉センター		
平成30年8月6日 7日	(4社会福祉施設) アゼリア・タンポポ・愛生会・希望ヶ丘学園	中学生 高校生	8名 5名
	(1病院) 人吉医療センター	中学生 高校生	6名 5名
	(8保育園) あいだこども園・泉田こども園・せん月保育園・中原保育園・林保育園・人吉こども園・人吉乳児保育園・ひまわり保	中学生 高校生	18名 13名
平成30年8月9日 10日	(2社会福祉施設) 龍生園・リバーサイド御薬園	中学生 高校生	5名 4名
	(5保育園) おこば保育園・こばと保育園・さざなみ保育園・善隣保育園・蓬萊保育園	中学生 高校生	13名 6名
合 計	6施設・13保育園・1病院	中学生55名 高校生28名	計83名 (参加実人数)

③中高校生のための災害ボランティア講座 (対象者：中学生以上)

月 日	施 設 名	参加者数	
平成30年7月22日	被災地でのボランティア活動 (益城町) ※人吉ロータリークラブの被災地支援活動にボランティアとして参加	高校	13名
平成30年8月8日	座学講座 会場：人吉市総合福祉センター	高校	11名
合計		高校生	13名 (参加実人数)

参加者総数 165名 (小学生 69名・中学生 55名・高校生41名)

4 人吉市災害救援ボランティア養成事業

災害救援ボランティア活動に関心のある一般市民や団体を対象に、災害ボランティアリーダーとして活動できる人材を養成することを目的としています。30年度は西校区の住民を対象に行い、48名が参加しました。講演・炊き出し訓練・避難所運営ゲームHUGを行いました。講演の内容は災害救援ボランティアの基礎的なことから、熊本地震の際の災害ボランティア活動や災害ボランティアセンターの様子を伝えていただきました。避難所運営ゲームHUGでは、人吉市が被災したと想定して進めていきました。

また、災害救援ボランティアバンク登録者が対象の平成30年度災害救援ボランティアフォローアップ研修を、人吉市災害救援ボランティアやませみと共催で開催しました。平時の備えをテーマに、上新町町内会の自主防災組織の先進的な取り組みを発表していただきました。人吉市で策定されていた球磨川タイムラインをもとに、災害が起こる前の動きや発生時に私たちが何をすべきか考えていきました。

【研修の内容】

月 日	内 容
平成31年1月20日(日) 災害救援ボランティア 養成講座	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「人吉市の災害と防災計画について」 講師 人吉市防災安全課 上蔀 年勝 氏 ・炊き出し訓練 ・講演「災害ボランティア活動の基礎知識・役割について」 講師 八代市社会福祉協議会 村上 直隆 氏 ・クロスロード、避難所運営ゲームHUG
平成31年3月21日(木) フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「タイムラインについて・自分のタイムラインを作ってみよう」 講師 熊本大学名誉教授 北園 芳人 氏 ・発表「上新町町内会における自主防災組織の取り組みについて」 発表者 上新町町内会副会長 白石 忠志 氏

5 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練の実施

人吉市・球磨郡内の社会福祉協議会では、管内において災害が発生し、被災した地を有する市町村社会福祉協議会単独で災害救援活動が十分に実施できない場合を想定し、人吉市・球磨郡社協相互間の応援を円滑に行うため「災害時相互応援協定」を締結し、毎年訓練を実施しています。

内 容

期日：平成30年8月25日(土)

場所：球磨村総合運動公園内さくらドーム周辺 参加者：205名

○災害ボランティアセンター設置訓練

炊き出し訓練、救急法、土のう作り・畳運び体験・展示

災害ボランティアセンター設置訓練事業実行委員会 4回開催

6 西日本豪雨災害に伴う職員の派遣

【被災地職員派遣】

西日本豪雨災害における災害ボランティアセンター一運営のための職員派遣要請に対して、呉市災害ボランティアセンターに1名の職員を派遣しました。

平成30年9月10日～9月15日 緒方 茜

Ⅷ 在宅福祉サービス事業

1 デイサロン事業

今年度は、介護予防や体力づくりに重点を置いた「あさデイ」を昨年度から2会場増やし、「デイサロン」「あさデイ」合わせて市内52会場で開催しています。新たな取り組みとしては、市で推進している人吉ころばん体操を4会場で実施しました。また、「あさデイ」後に地域サロンを開催する町内も3カ所あり、地域の居場所づくりのきっかけにもなっています。6～7月の大雨、8月の猛暑で中止になる会場がありましたが、前年度より利用者は増加しています。

年月	開催回数	利用者数	平均利用者数	介護予防教室内容
平成30年4月	78	914	11.72	「こつこつ体操」 } 4月～3月まで ストレッチ、脳トレ等 } 毎月開催
5月	78	900	11.54	
6月	75	887	11.83	} 介護予防生活機能評価測定 (地域包括支援センター共同) (実施期間…7月～12月)
7月	73	805	11.03	
8月	70	646	9.23	
9月	75	847	11.29	
10月	79	878	11.11	
11月	80	866	10.83	
12月	74	804	10.86	
平成31年1月	68	709	10.43	
2月	79	842	10.66	
3月	80	890	11.13	
合計	909	9,988	10.97	

2 介護保険事業

A 居宅介護支援事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
要支援1	9	10	10	10	9	8	7	7	6	6	6	7	114
要支援2	6	6	5	6	6	7	9	10	8	7	7	8	
要介護1	35	32	32	32	32	32	33	32	35	37	40	37	
要介護2	21	24	25	27	29	30	31	30	31	29	28	23	
要介護3	14	15	13	13	10	10	8	10	12	11	12	11	
要介護4	5	5	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	
合計	91	93	90	93	91	92	93	91	94	92	94	88	

B 訪問介護事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
事業対象者	1	1	2	1	2	4	3	5	4	5	5	5	159
要支援1	9	10	9	10	9	5	7	7	7	7	6	7	
要支援2	18	16	15	16	15	17	17	19	18	17	18	19	
要介護1	29	27	25	27	29	32	33	33	32	30	30	30	
要介護2	19	23	21	22	23	22	20	21	22	22	21	20	
要介護3	5	6	5	6	6	5	6	6	6	7	7	6	
要介護4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
要介護5	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	
利用者数(人)	86	88	81	86	88	89	90	94	92	91	89	89	

3 障害者総合支援法関係事業

居宅介護 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	33
区分2	4	4	5	5	5	4	5	6	6	5	4	6	
区分3	14	13	13	15	13	13	13	15	12	14	13	13	
区分4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	
区分6	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	
利用者数(人)	22	21	22	24	22	22	23	26	24	25	22	25	

移動支援 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
利用者数(人)	11	9	9	8	10	10	10	9	10	9	10	9	12

Ⅷ 共同募金

1 赤い羽根共同募金

共同募金配分金は本市における地域福祉活動の推進に欠かせない重要な財源となっています。本年は、募金目標額を950万円とし、市民各層への募金呼びかけをはじめ、「おくんち祭り」や「ひとよし産業祭」等で啓発及び募金活動を行いました。

県目標額 2,060,000円 目標額 7,440,000円

合計目標額 9,500,000円

実績額 8,638,327円

単位：円

募 金 種 別	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	1,820,677	町内会を通じ、各戸から
街 頭 募 金	131,418	おくんち祭り・ひとよし産業祭
法 人 募 金	769,533	市内の各法人
職 域 募 金	741,272	官公庁・企業の職員の方々
学 校 募 金	48,471	各学校
歳 末 袋 募 金	2,488,784	町内会を通じ、各戸から
歳 末 演 芸 会	1,694,381	歳末たすけあい演芸会益金
自 動 販 売 機	667,494	総合福祉センター、市役所別館、旧保健センター前駐車場 あやめ公園、石野公園
そ の 他	276,297	イベント募金 他
合 計	8,638,327	

※平成30年度募金額は、県共同募金会へ全額を送金し、平成31年度に配分されます。

平成29年度共同募金による平成30年度配分金・配分内訳

平成30年度赤い羽根募金の配分金を福祉事業に活用しました。
(主な事業は下記のとおりです。)

平成30年度配分金額 7,309,572円

単位：円

区 別	配 分 額	内 訳
児童・青少年	346,369	ボランティア体験行事・感想文集
	237,106	ボランティア協力校活動助成金
	374,000	福祉2団体助成金
高齢者福祉	1,267,733	ミニサロン事業助成金・参加者保険
	65,970	給食ボランティア事業助成金・保険
	774,000	老人クラブ（シルバーヘルパー事業）助成金
	434,000	小地域ネットワーク助成金
	152,476	命のバトン800本、マグネット500個外
	18,000	福祉機器（車イス）修繕費
障害児・者福祉	137,376	福祉4団体助成金
福祉育成	236,514	社会福祉のつどい
	851,208	社協だより発行
	340,500	校区社協だより助成金
	304,000	福祉3団体助成金・公募2団体
	146,880	クリアファイル
歳末たすけあい 配分金事業	1,293,720	歳末たすけあい見舞金品配分事業
合計	6,979,852	

2 歳末たすけあい運動

本年度も「歳末たすけあい演芸会」の開催や各町内への袋募金を行いました。
配分事業として今年度も、生活困りごとの相談が多かった「生活困窮ひとり親等世帯」の児童数に応じた配分、80歳以上の方の増加傾向に鑑み将来的には85歳以上の方がいる世帯とするため本年度は「82歳以上の方がいる世帯」としました。

第51回歳末たすけあい演芸会

- ・期 日 平成30年12月2日（日） 午前午後2回公演
- ・会 場 人吉カルチャーパレス 大ホール
- ・主 催 人吉市社会福祉協議会・人吉市共同募金委員会
- ・演 目 吟詠・日本舞踊・三味線・郷土芸能・ダンス・歌謡曲等
- ・出演者数 午前254名 午後174名 延出演者数428名
- ・係員数 午前午後 延べ151名
- ・入場者数 午前の部794名 午後の部634名 合計1,428
- ・チケット販売数 2,037枚（1枚1,000円）
- ・収益金 1,694,381円（人吉市共同募金委員会へ）
- ・当日共同募金箱 96,299円

歳末たすけあい見舞い金品配分実績

項 目		金額	件数	合計金額
生活困窮世帯	1人	10,000円 ×	3件	30,000円
	2人	12,000円 ×	5件	60,000円
	3人	14,000円 ×	3件	42,000円
	4人	16,000円 ×	1件	16,000円
	5人	18,000円 ×	1件	18,000円
	6人	20,000円 ×	1件	20,000円
	8人	24,000円 ×	1件	24,000円
	小計			15件
生活困窮 ひとり親等児童扶養世帯	1人	5,000円 ×	6件	30,000円
	2人	7,000円 ×	6件	42,000円
	3人	9,000円 ×	3件	27,000円
	4人	11,000円 ×	2件	22,000円
	小計			17件
寝たきり高齢者介護世帯		12,000円 ×	28件	336,000円
認知症高齢者介護世帯		12,000円 ×	32件	384,000円
在宅75歳以上一人暮らし世帯		タオル ×	1,135件	288,360円
在宅82歳以上の方がいる世帯		タオル ×	1,582件	
在宅80歳以上の高齢者のみ帯		タオル ×	70件	
	合計		2,879件	1,339,360円

IX その他の事業

1 人吉市総合福祉センター利用状況

社会福祉協議会をはじめ公共機関及び各種団体等の年間利用総数は463回となり、収入総額は466,445円でした。駐車スペースの減少に伴い、年々収入が減少しています。

(単位：円)

区 分	使用回数	利 用 料	減 免 額	納 入 額	
社 協	人吉市社会福祉協議会	202	858,585	858,585	0
	校区社会福祉協議会	7	21,375	19,800	1,575
団 体	くらし見守り相談員連絡協議会	6	22,450	22,450	0
	人吉市民生委員児童委員協議会	78	259,350	240,450	18,900
	人吉市老人クラブ連合会	18	57,525	51,100	6,425
	人吉市子ども会育成連絡協議会	2	11,800	0	11,800
	人吉市保育園連盟	40	121,060	99,150	21,910
	人吉市ボランティア連絡協議会	14	80,850	74,400	6,450
	熊本県共同募金会 人吉市共同募金委員会	5	35,100	33,800	1,300
	社協関係ボランティア団体	12	90,160	44,385	45,775
	福祉関係団体等	33	92,270	59,150	33,120
公共機関等（市内）	24	184,765	0	184,765	
公共機関等（市外）	22	134,425	0	134,425	
合 計	463	1,969,715	1,503,270	466,445	

2 介護用機器等の貸出

社協では、短期間での利用及び経済的理由での車椅子やベッドなどの7品目の介護機器等を最長3ヶ月間無料で貸出しており、本年度の延べ貸出件数は135件となっております。

介護用機器等	件 数	介護用機器等	件 数
1 車イス	72件	5 歩行器	11件
2 ベッド	11件	6 押し車	6件
3 ポータブルトイレ	12件	7 チャイルドシート・ジュニアシート	2件
4 シャワーチェア	10件	8 松葉杖・浴槽台	11件
合 計（延べ件数）			135件

3 善意銀行

生活困窮自立相談支援事業の受託に伴い、食べ物がないなど急迫したケースに対応するため食料品や日用品の預託を呼びかけました。また、生活困窮者支援のため預託金から食料品を購入しました。

預託金品等	件 数	内 訳
寄附金	1 件	40,000 円
物 品	50 件	・扇風機 ・電気ストーブ ・ハロゲンヒーター ・バスタオル ・紙オムツ ・尿取りパット ・リハビリパンツ ・防水シート ・ポータブルトイレ・シルバーカー ・お米 ・ランドセル ・衣類 ・布団カバー ・ベビーカー・車椅子 ・せっけん・四点杖・食器 ・食料品 ・電気敷毛布 ・カイロ ・タオル ・冷蔵庫 ・布団 ・チャイルドシート ・ペースト食 ・電気ポット ・ポリタンク
計	51 件	
払出金品等	件 数	内 訳
払出金	2 件	困りごと支援センター管理食品代 14,308円
物 品	109 件	・食料品 ・車椅子 ・衣類 ・布団一式 ・シャワーチェア ・洗濯機 ・炊飯器 ・洗剤 ・タオル ・ティッシュ ・靴
計	111 件	

4 各種団体の事務局

①人吉市民生委員児童委員協議会

理事会（各単位民児協会長副会長、主任児童委員代表）毎月1回
各単位民児協例会（4校区）毎月1回
各単位民児協宿泊研修（4校区）同行
各種研修準備・同行

②人吉市くらし見守り相談員連絡協議会

※詳細は13ページに記載。会議、研修会等の支援。

③人吉市校区社協連絡協議会

※詳細は10ページに記載。会議、研修会等の支援。

④熊本県共同募金会人吉市共同募金委員会

共同募金運営委員会の開催（年2回）
共同募金審査委員会の開催（年1回）
募金額、配分については25ページに記載。
11月の産業祭時に共同募金PRブース設置（2日間）

⑤人吉市ボランティア連絡協議会

総会、研修会の準備。五役会、役員会等への参加。

X 資料

1 会費の実績

（単位：円）

会費の種類	平成29年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
普通会費 : 1戸 200円	12,345	2,469,000	12,311	2,462,000
賛助会費 : 1口 1,000円	4,994	5,162,000	4,970	5,151,000
特別会費 : 1人 10,000円	123	1,230,000	125	1,250,000
合計	17,462	8,861,000	17,406	8,863,000

2 寄附・香典返し

（単位：円）

	平成29年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	38件	7,105,116	49件	1,007,912
香典返し寄付金	178件	3,380,921	232件	4,523,809
合計	216件	10,486,037	281件	5,531,721

3 受入訪問団体（者）一覧

	年月日	訪問団体（個人）名	研修内容	人数
1	平成30年8月28日	鹿児島県日置市住吉地区公民館	高齢者の見守り活動について	14
2	平成30年10月29日	荒尾・玉名2市4町	成年後見センターについて	8
3	平成30年11月12日	熊本市社会福祉協議会	成年後見センターについて	2

4 実習生受入報告

	期間	日数	養成学校等	人数	実習の内容
1	平成30年 9月4・5日	2	人吉第二中学校	1	買い物支援センターで職業体験